

シャインマスカットは全国で栽培面積が拡大している品種で、果物売れ筋ランキングにおいても上位に位置するなど、消費者からの人気も高いブドウです。こうした中で、産地間競争のさらなる激化が予想されることから、山梨県産果実の有利販売を進めるために、高品質・安定生産を実現する技術的な対策が求められています。

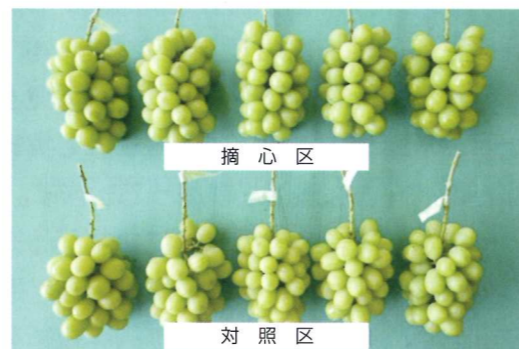
シャインマスカットの品質面において、課題とされているのが果粒肥大不足です。ボリューム感たっぷりの大房ブドウに仕上げるためには、果粒肥大を促進することが重要であり、喫緊の課題となっています。

そこで、果樹技術普及センターでは県内各地に実証ほを設置し、果粒肥大の一つの方法として、摘心処理による果粒肥大効果について検討しました。房づくり時に摘心をしないものを対照区とし、強い摘心（展葉枚数11枚での摘心）を行うものを試験区として、果実肥大への影響を検討しました。その結果、摘心処理によって約13%の肥大効果があることが確認されました。

果樹技術普及センターでは、今後も引き続きシャインマスカットの品質向上に向け、試験研究機関と連携する中で果粒肥大対策に取り組んでいきます。



展示ほにおける摘心処理（平成24年）



摘心処理の調査果実（平成24年）

いつものチェック忘れていませんか！ 農薬は十分注意して正しく使いましょう

農作物を安定して生産するためには、殺虫剤や殺菌剤、除草剤などの農薬が使用されます。

食品衛生法では、農薬の残留基準が成分や食品の種類ごとに定められています。

その基準値を超えた食品は、流通が禁止されることになっているため、農薬の使用にあたっては、十分に注意をしなければなりません。

まず始めに、農薬のボトルや袋には、使用ができる作物の名前、使用量や濃度、使用時期や回数などが書かれています。使用前には、これらの使用方法を必ず読み、正しく理解した上で使用しましょう。

次に、使用する際には周囲の状況や風の状態を十分に確認して農薬が飛散しないように注意し、近隣の農作物等に農薬が残留しないように注意をしましょう。

農薬を使用する時は、マスクや手袋、ゴーグル、防除衣等を着用し、作業が終わった後は散布器具をよく洗浄し、手などもよく洗いましょう。

また、農薬使用後は日時や使用した農薬名、希釈倍率や使用量などの散布記録を必ずつけ、薬剤は鍵のかかる場所に適切にしまいましょう。



総合技術 普及センター

今年も稲絵アートを実施しています 北杜市の小学生が「カルチャくん」に挑戦

北杜市小淵沢町では、色の異なる稲を田に植えて絵や字を描く「稲絵アート」に本年も取り組んでいます。本年は、県内で実施されているやまなし国民文化祭事業の一環として実施しており、文化祭のマスコットキャラクター、「カルチャくん」の図柄や「旅立」という言葉を浮かび上がらせることになりました。

5月29日には、地元小淵沢小学校5年生の児童50名が絵や字となる部分に紫色の稲の苗を植付けました。小雨が降るあいにくの天気でしたが、子供たちが「冷たい」「気持ちいい」などと歓声を上げながら、楽しく作業する姿が印象的でした。

7月上旬頃からは緑と紫、9月頃から収穫までは黄色と紫のコントラストを楽しむことができます。

みなさんも一度現地に足を運んでみてはいかがでしょうか。



やまなし国民文化祭
マスコットキャラクター
「カルチャくん」



指導者のもとで児童が説明を聞いています。



稲で「カルチャくん」と「旅立」の文字を作ります。



平成24年に実施の「稲絵アート」



いざ植付け！



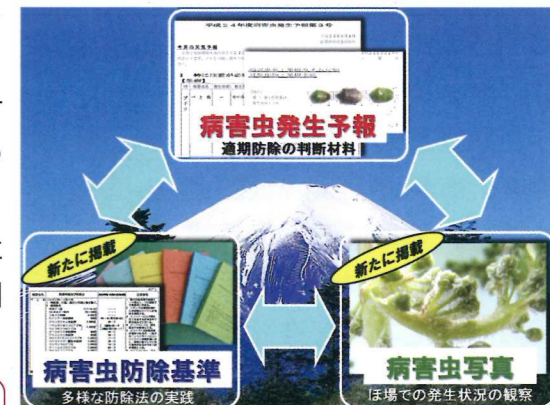
■中央自動車道…小淵沢ICから車で3分
■中央本線…小淵沢駅から車で10分

病害虫防除所からのお知らせ

山梨県病害虫防除所（総合農業技術センター調査部）では、ホームページをリニューアルし、病害虫発生予報や病害虫防除に関する資料、農業関連情報などを提供しています。

今回のリニューアルでは、病害虫の写真や病害虫防除基準を新たに掲載して利用者の利便性を向上させていますので、どうぞご利用ください。

ホームページ <http://www.pref.yamanashi.jp/byogaichu/index.html>



山梨県病害虫防除所（総合農業技術センター調査部）のホームページ画面